

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2730号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

里山の夏休みく小角川のどうぶつ淵にて(倉根稔弥栄らば 皆田潔氏提供)



も く じ

随 想

情 報

フ ォ ー ラ ム

政 策

「風土産業」に夢をみる

町村Navii

携帯販売サイト「アイ・シヨップ」を開設

公共投資も「選択と集中」を推進 2009年度国土交通白書

～町独自の販路開拓で、少子高齢化時代の生き残りを図る～ 岩手県一戸町

兵庫県多可町長

戸田

善規

(11)

(8)

(4)

(2)

写真募集

本誌表紙に掲載の写真を募集しています。四季折々の風物や行事など適当な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付して下さい)なお、採否は当方に一任願います。送り先：全国町村会・広報部

閑話休題

「農村文明塾」に寄せて

東京大学名誉教授

大 森 彌

二〇〇七年七月二十七日、全国町村会臨時総会の席で、私は、「町村」この基礎自治体の底力」と題する講演をさせていただいた。その際、次のように述べた。「皆さんは新井満さん作詞・作曲の『千の風になつて』という歌をご存知でしょうか。秋川雅史さんの歌が大ヒットになりました。昨晚、拙いのですが、この歌の替え歌を作りましたので、気恥ずかしいのですが、ここでご披露したいと思います。」

♪ 私の村を訪ねて／憐れまないでください／ここでわたしは生きます／愚痴ってなんかいません／空と大地の／空と大地の間の／この豊かな恵みを／受けとっています

これが私の農山村へ寄せる思いです」と。

長野県木島平村(人口約5千人、芳川修二村長)は、「農村文明の創生」を唱導し、本年六月から「農村文明塾」を始めた。「農村文明」とは「日本の農山村が有する食糧生産、水源涵養、癒しの場といった多面的な機能に加え、稲作を中心に森と水の循環系を守りつつ、自然と共生して農耕生活を行う中で営々と築いてきた歴史的、文化的、教育的な価値、さらには地域で支え合う地

域自治機能といった価値や機能を時代に則してさらに磨きをかけ、質の高いものに昇華させた自然と共存可能な持続型の文明」と定義されている。大都市への人口集中と都市型生活様式の一般化のなかで、「農村文明」とは、なかなかの覚悟と心意気である。東京生まれ、東京育ちの私も、「農村文明塾」をお手伝いしている。

そこで、替え歌の残りを試作してみた。作詞の才などないことは承知である。それでも、森と川と田畑と海をつなぐ水の循環こそ日本の国土と暮らしを守る基盤と考え、ゲリラ豪雨で被害を受けられた農山村の皆さんの難関を想いつつ、全国における農を支える運動を少しでも応援したいと思う。

♪ 春には水張り田おこし／夕ガメが息づく／秋は収穫に感謝し／総出で村祭り／森に降る雨は／清らかな水になり／水は川になつて／魚を育てる／私の村を訪ねて／憐れまないでください／ここで私は生きています／負けてなんかいません／空と大地の／空と大地の間の／この豊かな恵みを／守り抜いています

政 策 解 説

2009年度国土交通白書

公共投資も「選択と集中」を推進

国土交通省は、2009年度国土交通白書を公表した。民主党政権になって初めてとなる国交白書は、「転換期を迎えている地域・社会と国土交通行政」をテーマに設定。日本の現状をさまざまな観点から分析し、人口減少と少子高齢化の進展、膨大な長期債務の三つが、将来の日本に対する大きな不安要因になっていると指摘した。その上で、持続可能な社会をつくっていくには、既存の考え方を大胆に転換する「パラダイムシフト」が必要だと訴え、国交行政も総花的ではなく、「選択と集中」の方針に基づき、成長分野を伸ばしていくべきだと主張している。

35年には人口が7割に

白書はまず、日本で起きている大きな変化として、三つの不安要因を解説している。

人口減少については、1950年に8411万人だった日本の人口は、その後、一貫して増え続け、2004年には1億2784万人に達した。しかし、これをピークに減少に転じ、直近の10年は1億2738万人に減少、55年には8993万人と現在の約7割に落ち込むと推計されている。2000～05年における都道府県別の動向を見ると、21道県で死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

少子高齢化については、全人口の平均年齢は、1980年の約34歳か

ら2008年には約44歳に上昇し、高齢化が急速に進んでいる。65歳以上の「老年人口」が一貫して増加しており、現在は地方圏を中心に高齢化率が高いが、35年には東京都も高齢化率が30・7%と3割を突破。東京、名古屋、大阪の3大都市圏に住む高齢者が地方圏を上回るようになり、今後は大都市圏でも高齢化が大きな課題となる。一方、15～64歳の「生産年齢人口」は、3大都市圏を中心に増加してきたが、1995年ごろを境に減少に転じている。

共働き世帯が増加

三つの大きな不安要因を分析した上で、白書はその他の社会の変化にも目を向けている。

経済面では、1990年代前半を境に経済成長率が低下し、名目GDPが実質GDPを下回るなど、基調が変わったことがうかがえると指摘。産業別就業者数の面でも、3大都市圏を中心に伸びていた製造業や地方圏で多い建設業、運輸業の各業種が現在、減少傾向にあり、日本全体と地域の産業活動の枠組みに変化をもたらすことが考えられるとしている。

雇用形態も正規雇用の割合が1990年には79・8%だったが、09年には66・3%に減少し、非正規雇用者が増えている。夫婦の働き方については、1990年は共働きが823万世帯、一人のみ就業する「片働き」が897万世帯だったのに対し、09年は共働きが995万世帯、片働きが831万世帯と逆転した。

家族構成は、1985年ごろまでは「夫婦と子ども」世帯が全体の4割を占めた。しかし、90年代以降は急速に多様化し、2005年には夫婦と子ども世帯は約3割、30年に

また、国と地方を合わせた政府の債務残高に関しては、対GDP比で約1・8倍と、他の先進国と比較しても突出しており、白書は「財政状況がますます厳しくなっている」と警鐘を鳴らしている。

政 策

は約2割にまで減少すると推計されている。一方、単独世帯は1985年には約2割だったが、05年には約3割、30年には4割弱まで増える見通しで、標準的な家族像が大きく変わりつつある。

このほか、人口減少の影響としては、空き家の増加もある。日本全体の空き家率は、1988年には9.4%だったのに対し、2008年には13.1%に増えた。また、個人住宅だけでなく、まちも中心部の空洞化が進んでおり、とりわけ地方圏では、小売業の立地が、駅周辺や市街地から郊外の幹線道路沿いや工業地区に移っている。

若者世代や高齢者の意識・行動については、特に若者の将来に備える意識が強まっていると分析。晩婚化の進展や伸びない所得、価値観の変化などにより、消費活動や旅行には消極的だと指摘する。これに対し、高齢者は国内旅行の参加人口が伸びているほか、60〜64歳のインターネット利用率も、03年の39.0%から08年には63.4%と大幅に増加。高齢者がより活動的になり、従来のイメージを変えつつあるとともに、高齢化の進展でその存在感が増している。

社会の再構築が必要

白書は、こうした変化が起きていく社会では、既存の施策が成り立たない部分も多いと強調。人口減少や少子高齢化を踏まえた社会の再構築や、新たな価値の発見と魅力の創造が求められていると主張する。

社会の再構築の具体策としては、「コンパクトシティー」に代表される、集約して暮らすまちづくりを挙げた。人口が増えていた局面では、市街地を郊外や農村部に延伸し、都市的領域を拡大する傾向があった。その一方、住民が拡散して暮らすことになると、車を運転できない人には不便なほか、自動車の排ガス増加などで環境への負荷も大きい。自動車への依存度が高まると、鉄道やバスなど公共交通機関の利用者が減る。その結果、事業者が不採算路線から撤退してサービスが低下し、さらに利用者が減る「負の連鎖」に陥る懸念もある。このため、白書は人口減少社会においては、生活基盤の再編が求められるとし、集約して暮らすまちづくりの重要性を唱える。

道路や港湾といったインフラ(社会資本)に関しては、高度経済成長期に集中的に整備され、老朽化が急

速に進むことへの対策を求めた。整備後、50年以上経過するインフラの割合を2009年と29年で比較すると、▽道路橋は約8%から約51%▽水門など河川管理施設は約11%から約51%▽下水道管が約3%から約22%▽港湾岸壁が約5%から約48%へと急増し、維持管理費と更新費の増大が見込まれている。

白書は、国民の安全と安心を確保するため、コスト縮減を図りつつ、インフラの長寿命化計画の策定や、予防的な修繕を進めるなど、効率的・計画的なインフラの維持管理・更新に取り組むよう求めた。新規の投資に関しては、「選択と集中」の方針の下、今まで以上に真に必要なものを見極める必要があるとしている。また、厳しい財政事情を踏まえ、民間の資金や経営能力、技術を活用したPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)などの手法も積極的に取り入れるよう提言した。

官民連携については、インフラ投資だけでなく、高齢者福祉や地域交通の確保、子育て支援など、従来、行政が担っていた公共的な分野にまで活動を広げていくことが期待されている。白書は、行政とNPOなどの民間が連携して地域を支え、活力

観光を起爆剤に

を維持していくことが必要と言及している。

新たな価値の発見と魅力の創造に向けては、観光産業による新しい成長モデルの構築を提案した。地域の定住人口が減少する中、人の往来の拡大は地域経済の起爆剤になり、地域の活力を生む効果があるとし、国内、海外両面の対応策を求めている。

国内については、日本人は旅行への志向が高い一方、時間的な余裕がなく、旅行ができないと答えている人も多い。また、旅行に出かける時期が集中する結果、観光地が混雑し、旅行費も割高になる。そこで白書は、年間を通してバランス良く旅行できる環境づくりが求められるとし、休日分散化などでゆとりのある滞在の創出が期待できるとしている。

外国人旅行者数の拡大策としては、外国語表記のパンフレット作成などに加え、日本と外国の共同制作映画に対する国内ロケ地探しの支援や、地域情報をインターネットで発信するなど、「日本を訪れたい」という思いが生まれる取り組みが重要だと訴えた。

(時事通信社 中村卓朗)

地域資源を活かした活性化策

現地レポート

▷鳥越観音堂 ここを開いた慈覚大師が竹細工を広めたと言われている。



岩手県 一戸町

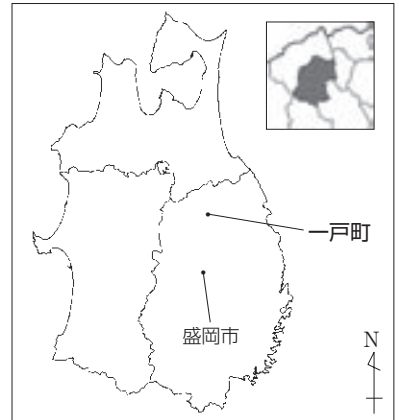
携帯販売サイト「アイ・シヨップ」を開設
町独自の販路開拓で、
少子高齢化時代の生き残りを図る

一戸町の概要

一戸町は岩手県北部に位置し、東側を北上山系、西側を奥羽山脈の山々に囲まれた、面積約300km²、人口約1万5千人の町です。

町南部の奥中山には町を縦断している国道4号の最高地点があります。また、現在はJRから経営分離された三セクのIGRいわて銀河鉄道が国道4号に沿って運行していますが、その昔は峠を越えるため蒸気機関車を三台連結して運行する必要があったことから、機関区が置かれるなど旧国鉄時代には鉄道の拠点となっていたところです。

岩手県北部から青森県南部にかけて、一から九までの「戸」のつく市町村がありますが、これは南部藩の



フォーラム

時代に馬を生産する単位を戸とよび、それぞれ管理した名残となっているようです。

また、岩手、青森、秋田の北東北と北海道には、縄文時代の遺跡が多く発見されていますが、一戸町でも御所野遺跡や時前遺跡などの遺跡が発見されており、青森県の三内丸山遺跡など他の縄文遺跡と協力して世界遺産登録を目指して活動をしています。



▷「御所野縄文公園」縄文時代の人々の暮らしを見るだけでなく体験することができます。

◁一戸を代表する色はレタスの緑。「緑の風景には地元の生産の場がかかせません。」



携帯サイト構築の背景

冒頭で紹介したとおり、一戸町は古くからの歴史を有する町で、全国にも知られた「鳥越の竹細工」をはじめとして、脈々と伝えられた工芸品や特産品が存在しています。また、町の基幹産業は農業ですが、国道4号の最高地点があるっており、標高が高い地区では、その冷涼な気候を活かした高原野菜の栽培や酪農が盛んに行われており、レタスなどの高原

野菜は全国的にもその品質には非常に高い評価をいただいています。

しかし、かつては日常生活用品として需要が多かった特産品も、現在では限られた方々が使っているにすぎず、地元の小学校の授業にその製作実習を取り入れたり、地元産品の紹介・販売所を開設したりしましたが、このままでは伝統工芸が廃れてしまふのではないかという懸念もたれていました。

しかし、年に数回町外で開いている物産展では、非常に多くの売上、来場者があることから、決してごく限られた一部のニーズではなく、



▷弾力性と耐久性に富む竹細工。使い込むほどにあめ色の美しい光沢が増していきます。

様々な活用方法があり、より広くPRを行うことで新たな顧客の開拓を図れると考えました。さらには、これらの工芸品は農閑期の主要な収入源であったという側面もあったことから、需要を喚起することで町民の所得となりうる可能性が多分にある、それがひいては製作者の増加につながるという循環が期待されました。

このような状況のもと、まず取り組むべきは、商品の歴史や使い方の背景をひろく伝え、個々の価値を高める必要があるとの認識から、普及が著しい携帯電話を用いた商品紹介サイトの構築を考えましたが、物産展などで希望の商品が入手できないなどの意見から、実際に購入も可能なよう平成18年12月に携帯販売サイト「アイ・ショップ」を開設しました。

携帯サイトの概要 (アイ・ショップ&公式サイト)

サイト開設にあたり考えたことは、「そもそも役場の資源とはなんだろう」という点と、「どのようにしたら継続性を持つことができるだろう」といったことでした。

昨今、行政へのイメージはともすると、「仕事が遅い」とか「サービ

フォーラム

「スが悪い」といったネガティブな評価が多いように感じています。一介の地方公共団体が詐欺的なことを行うといったイメージは少ないように感じており、それをいわゆるネット通販の分野に活かせないかと考えました。

大手ネットショッピングモールへの出店も検討しましたが、公共団体が関与することによるリスクの軽減も見込まれることから、むしろ商品の魅力を伝えることに傾注すべきという結論に達しましたので、独自サイトを開設することとしました。

また、継続性の維持という観点からは、できるだけ平易な操作性を採用しながら、携わる方々の意識を変えていく、例えば、生まれてからずっと当地で暮らしている方にとっては当たり前のもので、他の方から見たら素晴らしいものがあるかもしれない、といった意識を持つことが必要であると考えました。

さらに、当町でも過疎化、高齢化が進んでいます。こうした販売形式の定着により、将来、高齢者世帯への買い物代行などへの発展の可



「アイ・ショップ画面「アイ」は、一戸町の頭文字です。

能性も期待しました。

なお、このアイ・ショップの実績としては、現在若干数字は低下していますが、立上げ時には一日平均で約250件のアクセスがありました。また、その後開設した一戸町のモバイルサイトはNTTドコモ社のiモード公式サイトとして登録いただいており、そのページからアイ・ショップへのリンクを貼るなど、アクセス向上を狙っています。

アンテナショップの立上げ

前記のとおり、当町の商品の価値を高める取り組みは依然として必要なものと認識していますが、やはりおのずと限界もあると考えています。

普及している携帯電話ですが、やはり商品を確認するには画面サイズ

が小さいという難点がありました。その傾向は高額商品になればなるほど顕著で、実際に工芸品の購入については、過去に物産展等で実物をご覧になった方がほとんどでした。

また、食品に関してはサイトでの販売は難しく、主要な商品である高原野菜や乳製品についても、当町は大量消費地から離れているため輸送コストの問題などから昨今の状況下での競争力の低下や、流通過程の中で商品の価格を生産者が決定できな



神奈川県・横浜市に二戸町のアンテナショップ「ナチュラル・エッセイ」をオープン。地方と都会を結ぶ仲介役を目指しています。

いことによる収入の不安定性などが心配されてきました。

そのため、実際に商品を手にとってご覧いただける場が求められていました。ただちに利益を生み出すことは難しいと予想され、店舗の開設は困難であると考えていました。

しかし、たまたま当町出身の方から二戸町、ひいては岩手県の産品を紹介する場を作りたいとの申し出があり、平成22年1月に神奈川県横浜市にアンテナショップ「ナチュラル・エッセイ」をオープンすることができました。

町への効果

従来、当町ではどちらかというと生産活動に傾注してきました。それは当町に限ったことではなく、農業を基幹産業とする自治体も同様ではないかと推察します。

しかし、こういった販売活動に力を注いだ結果、少しずつではありますが、生産者の意識も変わってきています。

例えば、工芸品については、これまで趣味的な活動であったのが、購入者の視点で製作を行うようになってきたり、町外の方々から興味をもっていただくことで製作にもより力が入るようになったりしています。

フォーラム

また、行政におけるコンピュータの活用についても、情報の収集などに限らず、実生活で有用なものとなる可能性が見出され、町内の商業に活用できないかといった意見も出されるようになってきました。

以上のように、アイ・シヨップの開設やナチュラル・エッセイの開設は、一戸町をPRしようとする気運を醸成するのに一役買ったということができると思います。

課題と今後の展望

以上がこれまでの取り組みですが、今後の課題も多く残されています。

まず、地元産品を紹介するという位置づけで開始していますが、やはり継続するためにもある程度の利益確保は必要です。

特に横浜市に開設したナチュラル・エッセイでは、大都市での出店ということもあり、店舗家賃などの経費支出が大きいです。また、オープンした時期も農閑期で商品の品揃えも多くなかったことから、今後魅力的な商品の販売や多角的な商品の充実が求められています。

さらには、生産者の中には、ナチュラル・エッセイへの出荷を他の出荷先と同等に考えている方もいるの

で、やはり一戸町をアピールできる高品質のものを出荷していただくよう啓蒙する必要も感じていますし、ナチュラル・エッセイの傾向を産地へフィードバックできる体制づくりも整える必要があると考えています。

もちろん、消費者が求める高品質な産品を創出する取り組みを続けることは言うまでもありません。

また、アイ・シヨップについても、より実店舗と連動した販売促進活動



▷手業に長けた木工製品も町の特産品です。

も行えると考えており、出品数や発送体制の強化などが必要であると考えています。

近年、ネットショッピングは増加を続けており、今後もその傾向は続くという意見もありますが、大手ショッピングサイトに登録しても、なかなか成功事例が少ないのも実情ではないでしょうか。

もちろん当町の取り組みが成功していると言つことは、とつていできません。しかし、当町のような少子高齢化や過疎化が著しい町では、他市町村との競争力を持たないとその存在すら危ぶまれてしまいます。

地方の町であるほど、景気の動向に翻弄されます。景気が良いときにはゆつくりと、少しずつ恩恵を受けますが、ひとたび景気が悪くなると真つ先に影響を受けてしまいます。そのため時間や人手がかかることも多くありますが、住民が一丸となって、もがき続ける必要があると考えています。

そのような取り組みは従来行政が進出し難い分野ではありますが、これまでより柔軟な自治体ドメインを検討し、自治体を持つ資源も活用しながら生き残りを図る時代が到来していることを認識しています。

(一戸町まちづくり課)

主査 野崎 貞春

何かと面倒な相続手続き、お手伝いいたします。

遺産整理業務

[わかし愛]

※遺産整理業務には所定の手数料がかかります。※遺産整理手続き完了時(例)遺産額2億円の場合、遺産整理業務手数料2,887,500円(消費税込み)。(平成17年10月1日現在)

三菱UFJ信託銀行

お問い合わせは ☎0120-349-250

ご利用時間/平日・土・日 9:00~17:00 (祝日等を除く)
(回線がつかない場合は 090 を押してください。)

私たちは資産を守るパートナーです。

金融資産の運用から、相続対策、遺言、不動産等まで、私たちは、お客様のパートナーとして、世代を超えて、お付きあいさせていただきます。

まずは、お気軽にご相談ください。

皆さまの来店を、心よりお待ちしております。

資産の話をしませんか。

信託世代の

住友信託銀行

●資料のご請求は店頭窓口またはホームページまで。

住友信託銀行

町村Navi

北海道幌延町

町制施行50周年・宗谷管内 移管記念事業を展開

町は今年で、昭和35年9月1日に町制が施行してから50周年を迎え、また4月1日には道の行政所管区域が留萌から宗谷に変わった。このため、町では今年度、「この記念の年を祝うため」町民憲章制定事業や、記念DVD製作事業など各種記念事業を実施していく。

記念事業のうち、町民憲章制定事業では、町民がまちづくりのビジョンを共有するため「町民憲章」を制定する。幌延町民憲章制定委員会を設置して協議してもらい、町民の意見も聞きながら「幌延町に相応しいものを創りたい」と考えた。

一方、記念DVD製作事業では、町の記録を映像で残すため、過去の映画やビデオの映像を活用するとともに、新たな映像を追加し、30分程度のDVDを製作する。希望者には販売もするところ。

秋田県小坂町

県立校生の 資格取得費を助成

町は、町内にある県立小坂高校の生徒の資格取得を支援しようと受験料の

助成を始めた。

「環境技術科」を持つ小坂高校は、大正5年創設で同町にある唯一の高校。町では、これまでも優秀な生徒（1学年4人）を対象に授業料全額を助成していたが、今年度から高校授業料が無料となったため、同高校が推奨している資格取得の受験料支援に切り換えた。

「秋田県北部エコタウン」で町自身がエコ対策を強化していることから、東京商工会議所の「ECO検定」は受験料を全額無料としたほか、危険物や電気工事士、技能士、英語検定などは受験料の3分の2を助成する。このため、初年度分として170万円の予算を計上した。

富山県上市町

細菌性髄膜炎予防ワクチン 接種費用を一部助成

町はこのほど、県内で初めて細菌性髄膜炎を予防するワクチンの接種費用の一部助成を始めた。助成は1回の接種につき1000円で、町は240万円を計上した。細菌性髄膜炎は、ヘモフィルスインフルエンザ菌B型（Hib）や肺炎球菌が原因菌とされているもので、Hibワクチンは2008年度に、小児用の肺炎球菌ワクチンは今年2月にそれぞれ国内での販売が開始された。

助成は、4月以降にワクチンを接種した4歳までの子ども（接種日の年齢）の保護者が対象。ワクチンは複数回の接種が必要だが、該当回数分の助成を受けることができる。なお、両ワクチ

ンは任意接種の扱いのため、接種費用は医療機関によって異なっている。

厚生労働省の調査によると、両ワクチンの1回当たりの接種費用は、Hibワクチンが7350円、8537円で、小児用の肺炎球菌ワクチンが1万51952円。両ワクチンの今年度の公費助成状況は、Hibワクチンは204市町村（09年度57市町村）が、小児用肺炎球菌ワクチンは11市町村（同一団体）がそれぞれ実施しており、助成を行う団体は増加傾向にある。

兵庫県佐用町

昨年の9号台風で 災害検証報告書

町は、昨年の9号台風被害を踏まえ、合計90項目の提言などを盛り込んだ「災害検証報告書」をまとめた。これを受けて、町では順次具体化に取り組み。また、大規模災害時の対応を地域住民が把握する一助として「支えあいマップ作成マニュアル」も作成した。

昨年8月の台風9号では豪雨で死者18人・行方不明2人の被害が発生。このため、町では学識者らによる検証委員会を設置、現地調査やヒアリングなどを行い228頁にわたる報告書をまとめた。①災害対策本部体制・関係機関との連携②災害情報の伝達・避難の実施③災害救援ボランティア活動の支援体制について提言。夜間の避難は危険だとして、新たな情報伝達手段の導入などを求めた。なお、町では今年4月から「企画防災課」を設置し、復興・まちづくり・広報の3室体制と防

災担当の体制を整えた。

「支えあいマップ」は、大規模災害では住民自らの対応も不可欠となるため、集落単位で災害の弱点などを具体的に把握してもらうもの。このため、「作成マニュアル」を全戸に配布。集落単位で「安否確認・避難支援登録シート」や支えあいマップの作成を進めている。

沖縄県中城村

琉球大学と 包括連携協定を締結

村はこのほど、琉球大学と「包括連携協定」を締結した。協定は、村と大学が相互に密接な連携協力を図り、地域社会の発展と人材育成、学術振興に寄与することが目的。

琉球大学は国立大学法人化後、地域連携を推進するため近隣自治体との懇談会や千本校植樹活動等を実施。さらに、観光及び産業振興に関し双方の連絡会議を開催し、勉強会や懇談会等も実施した。これらの実績に基づき、村から「継続的な包括連携協力を図りたい」との提案があり、双方で協定締結について検討を進めていた。

協定書によると、連携対象となる分野は、①地域づくり・まちづくりの推進②観光及び産業の振興③環境の保全及び防災対策の推進④保健・医療・福祉の向上⑤教育・学術・文化の振興、生涯学習の推進⑥ボランティア活動プログラムの実施⑦等。具体的な連携事項については、協定書第3条に基づき設置する「琉球大学・中城村連携推進協議会」において協議し、決定される。

情 報

健康に生き抜く方法

親知らず、抜くタイミングは？

ライター 大橋由香子

ものすごく痛かった、入院して抜いた……大病ではないけれど、意外に大変な「親知らず」。まだ生えてない人は心しておきましょう。

眠っていた歯が動き出す

親知らずとは、医学的には第三大臼歯、または智歯（ちし）と呼ばれ、永久歯32本のうち、最後に生える歯のことです。前歯から数えて8本目、奥歯のさらに奥に位置する上下左右の4本です。今より寿命が短かった昔は、親が亡くなってから生える歯ということ、このように呼ばれます。

人間の顎（あご）が小さくなるにつれて生えにくくなり、スペースがないために真っ直ぐに生えてこないことが多く、次のようなときにトラブルを起こします。

- 一 斜めや横向きに生えようとして隣の奥歯を圧迫している場合
- 二 少し生えてきた親知らずが、虫

歯や歯周病になってしまった場合痛みがひどいときは、下の歯だと口が開けられなくなったり、上の歯だと耳の回りまでうずいたり、発熱することもあります。

基本的な治療法は、歯科医で抜いてもらう（抜歯）こと。腫れや炎症がひどい場合は、いったん薬で状態を落ち着かせてから抜歯することもあります。忙しいからと、市販の痛み止めでごまかしていると、感染や化膿が悪化し、よけい大変になります。歯の位置や症状によっては、行きたい歯科医では難しく、大学病院の口腔外科を紹介されることもあります。

抜いたあとのほうが痛いことも

抜歯手術は5分から1時間程度。麻酔をかけるので痛みは感じませんが、骨の中から歯を取り出すので、通常の抜歯とは違います。4本とも

抜く場合などは、全身麻酔になることもあります。

体験者たちは、抜歯のあとが大変だといいます。局所の痛み、あごが腫れる、シビレがとれない、口の中の不快感、血が出るなどの症状があります。職場を休まざるを得ないケースも多いようです。

だいたい一週間で痛みや不快感はおさまり通院も終わりますが、腫れや痛みが続く、出血が続く場合は、医師に診てもらいましょう。

抜くべきか、抜かざるべきか

悩ましいのは、「今はなんともないが、いつ動き出すかわからないから予防的に抜きましょう」と医師に提案されたときです。別の歯の治療でレントゲン写真を撮ったなら、「親知らずの位置が横向きだから抜いたほうが良い」といわれることもあります。また、痛み出して病院に行ったら、「ついでに痛みがない親知らずも全部抜きましょう」といわれることも。とくに、妊娠・出産を予定している人、海外生活をする人は、予防的な抜歯を勧められるようです。

ほかの歯痛と同じく、疲れがたまっているときや、忙しいときに限ってトラブルが起きやすいもの。余裕がある状態で抜いておくほうが良いという考え方も成り立ちます。

一方、将来、ほかの歯が抜けてしまった場合の移植歯やブリッジの土台として使えるので、抜く必要はないという考えもあります。

- ① 完全に埋まっていて、レントゲン写真から判断して隣の歯への圧迫などの問題がない
- ② 生えてきても真っすべの方向で、歯磨きなどができる状態である

このような場合は抜かなくてもよいと考えられますが、二のケースでも、虫歯や歯周病になりやすく、奥で治療がしにくいので、生えてきたら抜いたほうが良いと考える歯科医もいます。

十分に説明してくれる歯科医を見つけ、納得できるタイミングで抜きたいものですね。虫歯や歯周病対策として、普段から奥歯の周囲を念りに磨くよう心がけましょう。

第27回『都市問題』公開講座 (財)東京市政調査会

岐路に立つ地域医療

『都市問題』公開講座は(財)東京市政調査会の発行する月刊誌『都市問題』の特集などから時宜に適ったテーマを選び開催しています。

第27回は次のような趣旨により、「岐路に立つ地域医療」をテーマとして開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

【開催趣旨】

地域医療の危機がいわれて久しい。都市部・農村部を問わず医師の不足や診療科目間の偏在が指摘される。近年の地方財政の逼迫、自治体財政健全化法による連結決算などの影響を受けて、公立病院・診療所の閉鎖や規模縮小が続いている。少子・高齢化のなかでひとの命を守る医療の重要性は一段と高まっている。しっかりとした地域医療を構築するには、どうしたらよいのか。地域医療に先進的試みを重ねてきた若手・盛岡の地で考えてみることにする。

1、日時

2010年10月2日(土)13:30~16:30

2、場所

サンセール盛岡 1階・ダイヤモンド
〒020-0883

岩手県盛岡市志家町1-10

3、プログラム

△基調講演▽

貴田岡 博史氏 (岩手県立遠野病院 院長)

△パネルディスカッション▽

天野 巡一氏 (青森公立大学教授)

熊坂 義裕氏 (盛岡大学教授、前宮古 市長)

杉元 順子氏 (医療ジャーナリスト)

千葉 茂樹氏 (若手県保健福祉部長)

新藤 宗幸氏 (千葉大学教授) △司会▽

4、参加費・無料

5、参加申込み

東京市政調査会ホームページ(<http://www.tfm.or.jp>)からお申込みください。

6、申込み期限

2010年9月28日(火)

※満席となりしだい受付を終了しますので、お早めにお申込みください。

【お問合せ先】

東京市政調査会 研究室

TEL: 03-3591-1126

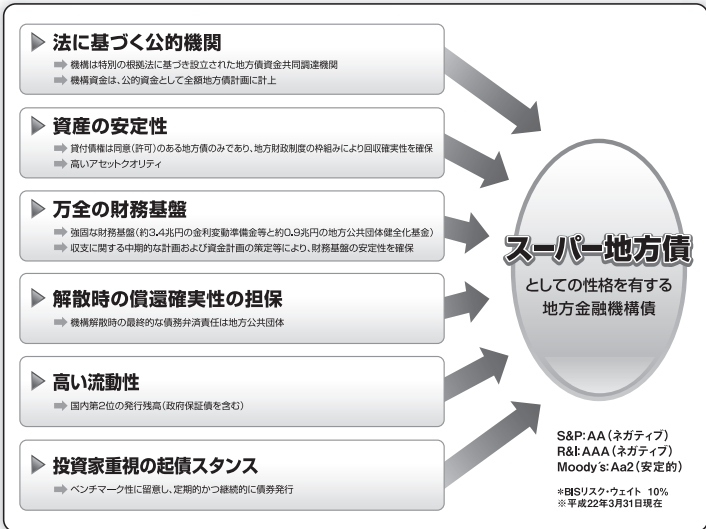
支えます、豊かな暮らし お手伝いします、魅力ある地域づくり

地方金融機構債券の紹介

地方公共団体に対する貸付等に必要資金調達は、政府保証のない一般担保付公募債である地方公共団体金融機構債券(地方金融機構債券)の発行を基本とし、必要資金を安定的に資本市場から調達しています。

地方金融機構債券は、強固な財務基盤等を背景に安全性の極めて高い債券です。

地方の 地方による 地方のための
地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



当機構の詳細についてはホームページをご覧ください。 <http://www.jfm.go.jp>

随 想



「風土産業」に夢をみる

兵庫県多可町長 戸田 善規



今朝方、嬉しい夢を見た。

きつと昨日の得も言えぬ展示が(そしてそれが私のまちづくりの完成型を暗示させるがゆえに)私の脳を鮮烈に刺激したからだろう。

見事に7年前の記憶が蘇った。鬼籍に入られて久しいが、愛知万博総合プロデュサーなども務められた木村尚三郎先生(東大名誉教授・当時)に我が町へ来ていただき、アドバイスを受けたことがある。

わが町は、中山間地域を含む農山村で、町土の8割を森林が占める。

「町長、植わっている樹種で多いのは何? もし檜が多いなら、檜を活かさない。檜は陽性で、人を明るくさせるから。まちづくりには格好の素材になるよ。」

分かりやすく指導いただいた様子を夢の中で思い出した。

合併議論もあって具現化ができず「檜を活かす秘策」は、課題として残ったままだった。

檜と繊維のコラボレーション

商工会からの案内状を見て驚いた。

なんと「多可ひのき木綿」製品の内覧会・説明会とあるではないか!

商工会と神戸芸術工科大学との産学連携により、檜の表皮やオガ粉を繊維に練り込んだ新素材の開発や製品化がなされているのだ。

多可町は隣接の西脇市と並んで「先染め織物・播州織」で戦後に一世を風靡した繊維の町でもある。

トートバックをはじめとする多種多様な繊維製品に加え、檜のテーブルやイスなどのインテリア製品が、会場にナチュラルで柔らかな雰囲気を出していた。

試作品の数々は、まさに素材の檜と先染め技術のコラボレーションであり、その発案・発想は私の思考不足を埋めて余りあり、感服至極、感謝感激するところであった。

TAKAブランドの創設

檜素材の自然色は、人をあまりにも優しく包み込む。

オーガニックは、いまブームなのだと女性秘書から聞かされた。

試作品のデザインやセンスも神戸流のファッション仕様で、商品化は十分に可能と確信できる。

さてさて、何より重要なのはブランド名と、その標章だ。

マス形の濃緑の地色に抜き文字で「TAKA」との表示が美しく映える。

ここから、また今朝方の夢の中の話に戻るが...

よし、これで町と一体化した多可のブランドが完成した。

商工会と一緒に産品を町行政が全面的にPRしていく。私自身がトップセールスマンとして販売攻勢をかけよう。

そうだ、私の目指した多可町の姿は、ウイトンやシャネルに匹敵する特産品のブランド化とあわせて、町自体のイメージが全国に発信できる「小さくともキラリと輝く町」だ!

あまりに嬉しくなりすぎて、木村先生に報告をしようと思った途端に目が覚めてしまった。

多可町は「風土産業」を育てる。

それぞれの町に個性がある。そして特性を活かした地場産業がある。

私の考える「風土産業」は、もっとも町の個性と特性を凝縮させたものだ。

「地場産業×地場産業」+「知恵・アイデア」+「郷土への誇り」=「風土産業」と数式化できる。

風土産業は必ずユニークな産品を生み出し、町そのものをも広く情報発信させるはずだ。

豊かな感性とITを駆使しての商品開発が図られ、極めて高度な販売戦略が練られるだろう。

そんな風土産業が根付くならば、故郷を愛する優秀な若者の知識と能力が活かされ、定着が可能だ。

「郷土への誇り」気高く!

わが多可町は、兵庫県の中央部、旧国名では播磨の最北部に位置する合併新町だ。

多可郡内の旧4町のうち、3町(中町・加美町・八千代町)が合併してきた人口2万5千人、面積185平方キロの多自然居住の町である。

大阪空港や新幹線・新神戸駅からは70分での到着も可能で、都市部から来た若者は「中途半端な田舎」と当初は異口同音に形容する。

一見すると、何の特長もない田舎の町に見えるのかもしれない。

でも違う。ハード・ソフトの両面で、強烈な地域資源を有する町だ。

酒米の王様「山田錦」の発祥の町、日本一の手漉き和紙「杉原紙」(宮中歌会始めの専用和紙)を有する町、9月15日を国民の祝日とした「敬老の日」・提唱の町でもあるのだ。

途中に合併選挙があったため、町長職就任10年目で4期目となったが、まだまだ私は未熟である。

「風土産業の樹立」と「郷土への誇り」を気高く掲げ、魅力にあふれキラリと輝きを放つ町、そして「多くの可能性を有する町」多可町を住民の皆さんと一緒により創りあげたいと考えている。



車両共済(保険)のご案内



(自動車総合保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

- 通常に新規でご加入するよりも **40% (保険料) 割引**
(ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年間無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。)
- 集団扱契約により更に **5% (ただし、一括払のみ)**
- 保険料分割払 (12回) も選択可能です。
(保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱一括払の5%割引の適用はありません。)

さらに

無料ロードサービスがついてきます。
ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードサービス専用デスクにご連絡ください。JAFにお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。
●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

◎年齢・ご家族・ご夫婦など運転される方を限定する場合、またお車が新車の場合は、さらに掛金(保険料)が割引になります。

契約条件と掛金(保険料)例

- ・自動車総合保険(損保ジャパン) 保険期間1年
- ・自動車保険集団扱一括払による割引5%適用。

車名	スズキ ワゴンR	補償範囲	免責金額なし	免責金額5万円
型式	MH23S	一般条件 (割引適用済)	38,650円	30,800円
初度登録	平成22年1月	(通常・新規で加入する場合)	67,810円	54,030円
年齢条件	30才以上補償	車対車+A (割引適用済)	21,260円	16,940円
運転者限定	家族限定	(通常・新規で加入する場合)	37,300円	29,710円
共済(保険)金額	150万円	限定A (割引適用済)	—	3,760円
払込方法	集団扱一括払	(通常・新規で加入する場合)	—	8,580円

- ・上記掛金(保険料)は、町村生協の自動車共済で過去3年間無事故(ノンフリート等級9等級)の場合のものであります。保険料は平成22年1月1日現在のものであり、変更される場合もあります。
 - ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
 - ・上記掛金(保険料)例の「通常に新規で加入する場合」とは、ノンフリート等級6S等級を適用した保険料を例示したものです。
 - ・免責金額とは、共済(保険)契約者に、事故の際に自己負担していただく金額です。
 - ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)または損保ジャパンの営業店にお問い合わせください。
- ※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

株式会社 千里
(取扱代理店)

- フリーダイヤル **0120-731-087** (受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)
お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください。
- FAX番号 **03-3519-7325**
- ホームページアドレス **http://www.chisato-ag.co.jp**
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と株式会社損害保険ジャパンとが集団扱契約を締結し、実施しているものです。

〈車両保険引受保険会社〉 ㈱損害保険ジャパン

平成20年9月9日 SJ08-05327